



全力一心

No. 7

令和3年 6月 7日

「夢を抱き、絆を大切にできる子どもを育もう～「よろこばせごっこ」で

都農町立都農小学校 TEL 0983-25-0049 FAX 0983-25-0273 文責；校長 三橋正洋

失敗は次への学び、成功は次への自信

先月の31日(月)、通常体育館で行う全校集会を、感染症防止対策の一環として、オンラインで実施しました。初めて行う“デジタル集会”だったこともあり、接続がうまくいかず、定刻よりも遅れてのスタートとなりました。内容も一部変更し、保健の先生からのお話だけ実施しました。そして、後日、全教職員で、うまくいかなかった原因と解決策を共有しました。それを通して、次回への自信が生まれました。「失敗は次への学び、成功は次への自信」～まさにその貴重な体験ができました。何事も“まずはやってみる”。チャレンジすることで、見えなかったことが見えたり、できなかったことができるようになるチャンスが広がります。児童の皆さんには少し迷惑をかけた部分もありましたが、その意味では意義ある集会となりました。では、この集会では話せなかった私の話を紹介します(以下の放送で流しました)。



4年生の様子です。相変わらず背すじピンで聞いていますね！

まずは嬉しい話からです。都農小学校は(5月)24日に、新しい友達が2年生と3年生に一人ずつ入って、226名となりました。これからこのメンバーで頑張っていきましょう。

では今日のお話です。今日は「都農小学校をもっともっとほめられる学校にしよう」という話です。「ほめられる」ことは誰でもうれしいことです。ほめられる学校になると、今よりもっと笑顔いっぱいの、楽しい学校になります。だからこそ、都農小学校をたくさんほめられる学校にしたいのです。

では「ほめられる学校」にするためにはどうすればいいのでしょうか？ 2つの方法があります。

1つ目は、みんなで力を合わせてがんばって、「ほめられることをする、自慢づくりをする」ことです。例えば、今みんなで取り組んでいる「めざせ あいさつ日本一の学校」へ向けて、毎日頑張ってみることです。では、ここで自分のあいさつの姿が「日本一」になっているか、確認をしてみましょう。今から3つのポイントを言いますので、自分の姿を確かめてみましょう。

① 笑顔で、元気な声で ② 自分から進んで ③ どんな人にも頭を下げる
さあ、どのくらいの人ができていたでしょうか？ これからも、この「よろこばせごっこ式あいさつ」にみんなで取り組んでいきましょう。最近、朝のあいさつはずいぶんよくなってきたと思います。でもまだまだできます。226名全員できることが目標です。まずは「都農町で一番ほめられる学校」へ向けて頑張りましょう。明日の朝の登校でのあいさつを楽しみにしています。

そして、もう1つ「ほめられる学校にするために」に大事なことは、都農小学校をさらに自慢できる学校にするために、考えたり、工夫したりして、学校を盛り上げてくれる中心となるメンバーをつくることです。すべてのことを、いつも226名全員で考えることも大事ですが、時間がかかります。そこで、代表メンバーでいろいろ考えて、みんなに投げかけながら、学校を盛り上げていこうと思います。そのメンバーの名前を「学校もりあげ隊」としました。このメンバーで、「都農小学校の自慢」についてアイデアを出し合っていきたいと思っています。初めてのことなので、どうなるか不安もあると思いますが、ぜひ思い切って立候補してみませんか？

＜裏へ続きます…＞

ただ初めてのことなので、初めは5年生・6年生の人たちから、このメンバーを募集します。少しでもやってみようかな、と思う人は、ぜひ勇気をもってチャレンジしてみてください。新しい伝統づくりに、挑戦してみませんか？

「全力一心」がこの学校の目標です。226名、失敗を怖がらずに、いろんなことにどんどん挑戦してみましょう。そのことが、みんなの将来の人生をきっと幸せにしてくれると思います。幸せになる力が身に付いてくると思います。今はいろんな経験をすることがとても大事です。そういう挑戦に、先生たちはこれからも心から応援します。

では6月が始まります。気持ちも新たにして、学校生活を1日1日大切にしていきましょう。

その後、嬉しい姿が見られるようになりました。

- 朝の挨拶がとてもよくなりました。「よろこばせごっこ式あいさつ」で元気になります！
- 「もりあげ隊」の希望者が続々校長室へ訪れます。このチャレンジ、すばらしい！
- これからも、おすぐっ子のいろんなチャレンジ、とても楽しみにしています！

安全・安心な生活を送るために…

雨の多い時期となりました。大雨が急に降ってくることもあり、それに向けて、先日訓練をしました。もちろんこの種の訓練は大事ですが、それとともに、自分たちの命は自分たちで守るという“気づき”も身につけていきたいと思います。ここで、2つのシーンを紹介します。

◇大雨等の風水害想定訓練をしました（5／30）

実際に先日の大雨の際に行った一斉下校の振り返りを元に、保護者へのメール訓練も含めて、全ての動きを想定しました。そして一斉下校の後、教職員による引き渡し訓練も実施し、職員会で反省事項を出し合いました。子どもたちの「放送時は無言」がよくできていた、緊急時避難の安全性が高まった充実した訓練となりました。これからも常在危機意識を大切に、安全安心な学校最優先で生活していきます。



◇“気づきの安全確認”の登校の様子です

これは朝の登校の様子です。これまでとの違いは分かりますか？登校見守りの方の発案で、これまで見守りの方が率先して「横断中」の黄色の旗を挙げて、子どもたちの横断を誘導していましたが、これからは、子どもたちがしっかり安全を確認して手を挙げて横断する形へとレベルアップしました。これは、下校や日常生活では、見守りの方なしで道路横断する多いために、子ども達自身が、命を守る術や意識を高めるためです。もちろんこれまで同様、登校の見守りは続けていますので、これまで同様、安心して登校してくださいね。



◇おれです◇

昨日のPTA奉仕作業には、早朝より多くのPTAの方々に、日頃なかなか手が届かない所まで環境整備をしていただきました。活動時間1時間とは思えない位、とてもすっきりとした風景となりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。